「熊本県県有林J－VER」の概要

熊本県県有林における間伐による温室効果ガス吸収事業

プロジェクトの内容・目的

熊本県五木村の県有林下梶原（しもかじわら）団地及び八重（はえ）団地内において、平成19～23年度に間伐を行い、その後の成長によって吸収するCO2の量を測定してクレジット化しました。

このクレジットを販売することで得られる資金を活用して適切な森林整備が継続して行われることで、森林の持つ水源かん養や土砂の流出防止等の公益的機能の維持増進を図ります。

また、対象地は、持続可能な森林管理が行われていることを検証し保証する、森林認証（SGEC）を取得しています。

プロジェクト対象地

下梶原団地全景

間　伐

熊本県球磨郡五木村の県有林下梶原団地（1,814ha）及び八重団地（226ha）内の森林141haを対象に平成19年度から平成23年度に間伐を実施しました。

間伐を行うことにより、林内に光が差し込み、残った木の生長が良くなり、根も広がります。さらに下層植生が生育することで地表面の保護が図られ、雨水による土砂の流失の防止や水源かん養機能の向上が期待されます。

間伐計画地：五木村県有林下梶原団地　128ha
八重団地　13ha
計　141ha

間伐前

間伐後

二酸化炭素の吸収量

141haの間伐によるCO2吸収量　：　4，724　t-co2
（モニタリングの結果認証を受けた吸収量）

水源かん養機能の増進による下流域の保全

川辺川

球磨川

J-VER・クレジット

カーボン・オフセットとは

自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的に削減努力を行うとともに、削減が困難な部分について、他の場所で実現した排出削減、吸収活動等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることです。

「オフセット・クレジット（J－VER）制度」とは

カーボン・オフセットの取組を普及・促進するため、国内のプロジェクトにおいて実現された温室効果ガス排出削減・吸収量を自主的なカーボン・オフセットに用いられるクレジット（J-VER）として認証・発行する制度です。
平成25年4月からJ－クレジット制度に移行して引き継がれています。

熊本県が取得したJ-VER・クレジット

クレジットの特徴

- 熊本県県有林でのCO2吸収プロジェクト
- 環境省J－VER制度により認証
- 「地球温暖化対策の推進に関する法律」のCO2排出量の埋め合わせに使用可能

販売するJ-VER

販売するJ-VERは、熊本県球磨郡五木村の県有林下梶原・八重団地の二酸化炭素吸収量で、環境省のオフセット・クレジット（J-VER）制度により認証され、現在はJ－クレジット登録簿システムで管理されているものです。

クレジット取得量

4,724 t-CO2 （うち販売可能量 4,583 t-CO2）
令和7年7月現在販売可能残量 151 t-CO2

販売実績

年度	H23	H24	H25	H26～H27	H28～H29	H30～R7	計
ｸﾚｼﾞｯﾄ取得量	1,912	334	2,337	―	―	―	4,583
販売量	10	45	184	248	1,296	2,649	4,432

お問合せ先
〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
熊本県 農林水産部 森林局 森林整備課（県有林班）
TEL：096-333-2439 FAX：096-383-7704
E-mail：shinrinseibi@pref.kumamoto.lg.jp